



上小小だより

〒330-0855 さいたま市大宮区上小町 1337-1

HP <http://kamiko-e.saitama-city.ed.jp/>

TEL : 048-644-6251

教育目標

- ◎ 心豊かな子
- ◎ 進んで学ぶ子
- ◎ 健康な子

会 積

校 長 小林 真理子

秋晴れの心地よい季節となりました。学校では、遠足や社会科見学、宿泊学習などが計画され、教室を離れたところでの新鮮な学びとともに、集団行動を通した子どもたちの成長が期待されるところです。

さて、上小小では、毎週木曜日の朝、あいさつ運動を行っています。2学期は、1年生と6年生、2年生と5年生など、異学年が一緒に担当しています。高学年の子どもたちは自ずとその役割を自覚して、進んであいさつをする姿を下級生に示しています。すると、その姿を見て、低学年の子どもたちがそっくり真似をします。言ってみれば僅かな工夫にすぎませんが、このようなあいさつを通した交流の継続が、温かな人間関係づくりや学校風土の醸成に寄与しているのではないかと思います。

ところで、表題に挙げた「会積」です。辞書を引きますと、「にこやかにうなづくこと。軽く首を垂れて一礼すること。あいさつ。おじぎ」とあります。

子どもたちの多くは、元気な声であいさつをします。でも、あいさつは元気だけでよいのかと思う時もあります。何よりも、あいさつは相手を思う心から生まれます。そうしたときに、子どもたちから心のこもった「会積」を受けて、本当に嬉しくなることがあります。

以前、講話朝会で子どもたちに「会積」の話をしました。「授業中に校長先生が教室に入ったときや廊下ですれ違ったときなど、『会積』というあいさつの仕方があります。周りの人のことを考え、今は黙って頭を下げるだけの方がいいなと感じたら、目を見て『会積』をしてください。言葉はなくても皆さんの気持ちは伝わるのです」

私は、子どもたちからだけでなく、廊下の遠くの方にいらっしゃる保護者の方からも、そっと頭を下げていただくことがあります。「いつもありがとうございます。我が子をどうぞよろしくお願ひします」言葉はなくてもそのように受け止めさせていただいて、私も黙って頭を下げます。「こちらこそ、ご協力をありがとうございます。全力で頑張ります」辞書の会積には次のようにも書かれていました。「相手の心をおしはかって応対すること」

気持ちよい元気なあいさつと状況に合わせたあいさつ、その両方ができる子どもたちに高めていきたいと思ひます。



10月は秋も本番。気候のよいこの時季を生かして、さらに充実した教育活動を進めてまいります。今月も保護者・地域の皆様のご支援とご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

【瞳輝くカミコン】「朝のあいさつ運動」の一コマから

今朝は、1年生と6年生であいさつ運動です。雨の日は、昇降口で。

